

恐ろしいほど美しい

幕末土佐の天才絵師

絵金

夜間特別貸切鑑賞会

(解説付き)

浮世柄比翼稲妻 鈴ヶ森 (部分) 二曲一隻屏風・紙本彩色 香南市赤岡町本町一区 ※前期展示 (4/22 ~ 5/21)

江戸時代末期の土佐に生まれた絵師・金蔵 (1812-76) は、髪結いの息子から出世し、21歳という若さで土佐藩の家老・桐間家のお抱え絵師となりながら、狩野探幽の贋作を描いた疑いで御用絵師の身分を剥奪、城下を追放されました。土佐・赤岡 (現在の高知県香南市赤岡町) に住んでいた伯母を頼って滞在したと伝えられ、この地で、町絵師として活躍した金蔵が得意としたのは、斬られた人の血しぶきが舞う場面や、赤子を連れ去る大鷲など、見る人が怖じ気づくほどの芝居の一瞬を切り取り、色鮮やかに描いた芝居絵屏風でした。ただ、その迫力と、恐ろしいだけではない技巧は人々を魅了し、金蔵は「絵金」の名で、土佐の民衆の間に広く知られるようになりました。

あべのハルカス美術館上席学芸員の藤村忠範さんが、高知県外では半世紀ぶりの大規模展、絵金展の見どころを解説します。解説前後は時間まで (閉館後は貸切) 自由に鑑賞ができます。

2023年
日時 5月20日(土) または 27日(土)
18:10~20:00
どちらかお好きな日程をお選びください

※17:00からご入場 (自由鑑賞) が可能です。
※当日、ミュージアムショップの営業は18:00までです。 ※当日、音声ガイドの貸出はございません。

会場 あべのハルカス美術館
大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 16階

参加費 2,800円

・展覧会チケット
・展覧会公式ポスター (非売品・B3サイズ) 付き

定員 各日50人
先着・定員になり次第募集は終了します

伊達競阿国戯場 累 (部分) 二曲一隻屏風・紙本彩色 香南市赤岡町本町二区 ※後期展示 (5/23 ~ 6/18)

申し込み・問い合わせ

よみうりカルチャー OSAKA
大阪よみうり文化センター
大阪市北区野崎町5-9
読売新聞大阪本社内



TEL : 06-6361-3325
Mail: honbu@oybc.co.jp

よみカル大阪 検索

会場・交通アクセス

あべのハルカス美術館

- ・近鉄「大阪阿部野橋」駅 西改札
- ・JR「天王寺」駅 中央改札
- ・地下鉄御堂筋線「天王寺」駅 西改札
- ・地下鉄谷町線「天王寺」駅 南西 / 南東改札
- ・阪堺上町線「天王寺駅前」駅



主催=よみうりカルチャー大阪 後援=読売新聞大阪本社